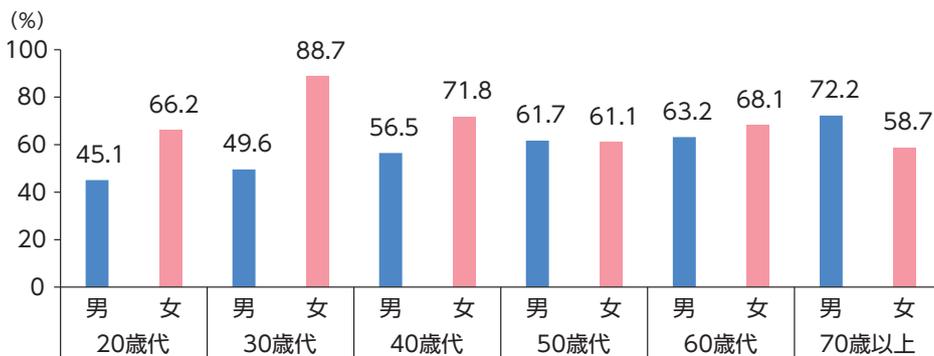


# 指針 1 食を楽しみ大切にすることをもちましよう

- ・ 家族や仲間と一緒に食事を楽しみましょう
- ・ 食材を知り、食べることに関心を持ちましよう
- ・ 「食に感謝する心」を持ちましよう
- ・ 地域の郷土料理や食文化を楽しみ、伝えましよう
- ・ 食品ロス削減を意識し、食品を無駄なく使いきりましよう
- ・ 産地や生産者を意識して農林水産物や食品を選びましよう

## ▼いつも共食をしている人の割合



全世代と比べると男性では20～30歳代、女性では70歳代で低い状況です。

出典：熊本県「令和4年度県民健康・栄養調査」

## ▼つくる人、つかう人、みんなで協力 四つ葉のクローバー運動



### 行動① てまえどり

買ってから「すぐ」に食べるものは、商品棚の「手前」から選ぶようにしましょう

### 行動② 食べきり運動

外食時も、食べきれぬ量を注文し、残さず食べるように心がけよう

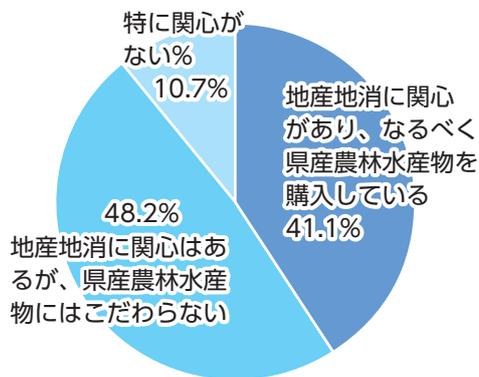
### 行動③ フードドライブ

家庭に眠っている食品を支援団体などに提供しよう

### 行動④ 食品ロスチェック

自分はどうか？  
自宅の食品ロスをチェックしよう

## ▼地産地消への関心及び県産農林水産物購入状況



出典：熊本県「2023県民アンケート調査」

地産地消に関心があり県産農産物を購入する県民の割合は約4割です。

特にこども期 (保護者等による支援)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな味に出会い、食べることに興味を持ちましよう</li> <li>・ 栽培、収穫、調理等を通して豊かな食育体験を重ねましよう</li> </ul>
特に働き盛り期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族や仲間と一緒に食事を楽しむ機会を作りましよう</li> </ul>
特に高齢期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域で食を通じた交流の場へ積極的に参加しましよう</li> </ul>